



PTA広報紙コンクールで奨励賞  
橋 仁美さん・54歳  
下川町

### みんなの知恵と工夫をひとつに

首都圏小・中学校PTA広報紙コンクール中学の部で、昨年発行した七中の広報「しらすぎ」が奨励賞を受賞。広報部長として編集の指揮を執った。

「わたしも含め、部員15人のほとんどが素人。受賞の知らせを聞いたときは奇跡と思いましたが、頑張りが認められてうれしいです。みんな喜びを分かち合いました」

通常は年2回の発行を昨年度は1回増やした。

「子どもたちに大事なことを伝えるのに、タイミングを逃したくなかったんです。やがて社会で羽ばたくときのために、今何を考え、学んだら良いのか。自分自身に向き合ってもらおうと特集を組みました」

ケートし、仕事や社会に対する意見を集めた。そして、これを基に座談会を開催。子どもたちの素直な言葉を、インタビュー形式でつづけている。

「編集会議を綿密に行い、文章の作成や全体のレイアウトなど大変でしたが、多くの人に読んでもらえたことがなにより」

まじめな記事だけでなく、「遊び」も盛り込んだ。

「職員室訪問と題し、職員の顔写真を載せた座席表にそれぞれのコメントを掲載。身近に感じられるコミカルな作りが受けたようです」

今年はPTA本部の副会長に就任した。広報編集での経験を生かし、学校と家庭のパイプ役として、ますます活躍してほしい。

### 家族で「いごもの日」楽しむ

5月5日、児童文化センターで「こどもの日のつどい」が開催されました。青空の下で、昔懐かしい紙芝居、ゴーカート、ロックンロールなどのコーナーに多くの家族連れが。また、こいのぼりコンサートでは、合唱団の発表なども行われ、子どもたちは元気いっぱい。家族で楽しい一日を過ごしました。



### 若い芽のポエム

昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

#### ★佳作 どろだんご

大胡小6年

戸塚 裕大さん

学校から帰ったみんなと空地でどろ遊びをしたトンネルをほったり、ダムを作ったりした。道路も作ったお城も建てたお堀を作って水を流した水は、すぐにすいこまれた天守閣は、6階建てにした土をぐちよぐちよにこねてつんでいった

#### ★佳作 田植え

永明小5年

新島 綾花さん

上の重みでつぶれてしまったまたなおした江戸城のようにできたどろだんごをこしらえて友達とくらべたかたさときれいと大きさを学校のつかれやしんぱいもわすれた次の日に、雨がふって丸いだんごも雨でこつこつだせつかく防空ごうの中に入れておいたのに

晴れる日ばかりだと土もパサパサだだんごもパサパサだ

野球でつかれたらどろだんごをみがく

毎日みがくと黒びかりする黒びかりして、宝石みたいだ

田んぼに入ったらふかくてふかくてありじごくに入ったみたいにどんどんどん引きこまれていく田植えは楽しいよなえをどんどん植えるとろうそくがたっているみたいでだれかのたん生日みたいな気がするよ

### 中心市街地などで多彩な催し

中心市街地などで5月3日・4日、全国都市緑化ぐんまフェア1年前記念イベントを開催。八木節やだんべえ踊りなどのステージ発表、ハンギングバスケットの展示など、多彩な催しを多くの人が楽しみました。



### ツツジ鮮やかに

5月3日から5日まで、敷島浄水場を一般開放。見ごろを迎えたツツジが多くの人を魅了しました。解説員と一緒に場内を巡る施設見学会も実施。おいしい水が作られる過程にみんな興味津々でした。

